

# 石クリ通信

## 11月号

市庁舎が水浸し

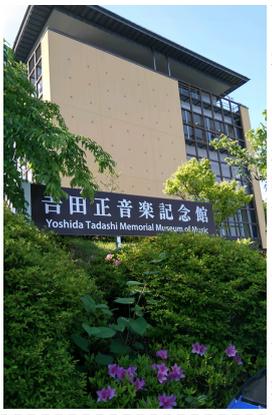
院長 石川 悟

自宅のすぐ後ろに金沢川という、ふだんはほとんど水の流れていないような川があります。しかし台風や豪雨の時は急にものすごい勢いで濁流が流れ、その変化は怖いくらいです。町内の一斉川清掃というのに参加して、川の周囲の草取りなどをしています。大雨の時に生えてしまった木々を切ることまではできません。大雨の時には瓦礫などが引掛かって簡単に氾濫する危険も予測されるので、適切な処置をして欲しいと、7、8年前に、ある議員さんにお願しました。川の管理は県の管轄なので県の土木担当に話しておきました。川のことでしたが、その後も何の反応もなく、木もますます大きくなっています。

9月8日の台風13号による大雨で市庁舎の地下が浸水し、電源喪失、職員によるバケツリレーで水を汲みだしている映像を、多くの市民は信じられない気持ちで眺めていました。東日本大震災被害の教訓を生かして、災害に強く、防災の拠点になるべく建設された市庁舎が真っ先に浸水、停電になってしまった事態に対して市長は「想定外」と語っていました。報道各社は計画の段階から二つの川が合流する地点での危険性を指摘する意見があったと「想定外」ではない、との論調を取っています（結果論ですが）。

日立市のホームページの市長メッセージは「被災した市役所本庁舎につきましては、市民の皆様にご心配をお掛けいたしました。今後、さまざまな角度から検証を行い、しっかりと対処してまいります」とありました。「市民に心配をかけた」だけで済ますのではなく、税金をつぎ込んだ建物が被災した結果に対して行政の責任者としてのお詫びと、なぜこのような結果を招いたのか徹底的に調査していくという姿勢を表明して欲しかったと、個人的には思います。

仕事の帰りにちよこつと寄り道して、神峰公園の吉田正音楽記念館に行ってみました。館内には懐かしい昭和の歌謡曲がビデオで流れていました。私の十代二十代の頃の歌、橋幸夫と吉永小百合の「いつでも夢を」など昭和のヒット曲を聞くと、私の気持ちも二十代の頃に帰り、とても癒されました。



看護助手 柴田 さち子

古稀近し

事務長 石川 都

私も来年はいよいよ古稀となる。そのせいか、この数年は東京から出身校の同窓会通知や案内が舞い込むようになった。先日は高校の卒業後五十周年の同期会が催され、私はあいにく行けなかったが、昨今の会らしく海外からのズーム参加もあり、盛会だったようである。その時の写真や動画なども見ながら来たネット上で見られたので、昔の顔を思い出しながら見たり読んだりできたのは、とても楽しくまた懐かしかった。

やはり半世紀も経つと、顔も名前もすぐには思い出せないが、男子校で女子が少なかったこともあり、女性は名札を見るとほぼ思い出し、面影もかすかに残っていた。若さはつらつとしていた人はそのまま、年の割に落ち着いていた人もそのまま、髪や顔は年相応でも、眼差しやしぐさ、雰囲気は時が経っても変わらないのだなあと考えた。私はどうだろう・・・？

ともあれ皆東京出身の同い年なので、海外や東京の会社の第一線として定年まで勤めあげ、今は第二の人生を、嘱託やら地域活動やらボランティアなどしている人が多かった。ただ中には家族の介護で来られないという人もおり、亡くなった人もいた。男性に比べ女性性は結婚により、夫の仕事の都合で津々浦々に散っている人も多かったが、男子校の少数精鋭女子なので、独身でバリバリ仕事をして来た人も結構いた。

皆の顔を見ると、それぞれ会社の前線で社会に貢献し、同じ年輪を重ねて来た重みを感じ、一人一人の人生ドラマが見えるようだった。私もこれから先のことはわからないにしても、今まだこうして仕事ができることに感謝しながら、一日一日を大切に生きてゆきたいと思った。

ハロウィン

看護師 太田 小百合

暑い夏もやっと終わり、ハロウィンの季節ですね。今年は、カボチャのくり抜きも面倒だし、仮装して出かけるのもちよつとなあ・・・ということだったので、料理本に載っていた「ハロウィン通にぎり」を作りました。レシピ通り可愛くできたと思います。いつも私1人で作っても「ふん」的な反応の夫なので、娘が作ったことになってみると、「おすすいな！」と笑顔で食べてました。私はムツとしながら、十三個あったおにぎりの七個を一瞬で食べちゃいました。



謎の植物出現！

看護師 澤田 彰子

夏前からクリニクの待合室の幸福の木の鉢に謎の植物が芽をだし、よきよきと伸びて30センチくらいに成長しているのですが何故か葉だけが伸びて葉っぱがでてこないんです。倒れかけてきたので支柱を立てていますがどこまで伸びるか、枯らさないように観察したいと思います。

なぜなぜ

事務 吉田 政子

父からなぜなぜを出されました。春に「ぼたもち」、秋に「おはぎ」と呼ばれている食べ物があります。この食べ物には、夏と冬にもそれぞれ呼び名があります。さて、何と呼ばれているでしょうか？ 私は、牡丹が咲く春の彼岸には「ぼたもち」を萩の花が咲く秋の彼岸には「おはぎ」と呼ばれているものを食べているけど、夏と冬に食べたとしても「おはぎ」と呼んでいるんです。確かに、「ぼたもち」も「おはぎ」も同じものだけど季節によっても呼び名が変わっているもので、夏と冬は呼び名があっても不思議ではないのかと・・・

答えは、夏は「夜船・よふね」冬は「北窓・きたまど」と呼ぶらしいです。興味がある方は、夏と冬は呼び名の由来について調べてみてください。

結局今年も

事務 森 多加子

今年も残すところ2ヶ月になりました。今年は早めにお掃除をと思い、まず手始めに階段下収納の整理をすることにしました。奥の方に追いやられていたダンボールが入っているのかと開けてみると、子供達の幼稚園からのお便りや工作。とても懐かしく、お便りを読み返し、工作を手に取り・・・。気がつくとも2時間近く階段に座っていました。結局今年もお掃除は適当で終わりそうです。

空飛ぶ魔法使い

庶務・ウェブ担当 石川 香

今年のハロウィンです。ジャンプをした瞬間にシャッターを押す魔法使いにうまくなれましたよ

